

# 令和7年度 KIDSBASE さんかく 第三者評価結果

## (1) 第三者評価機関

前児童委員・民生委員

那倉 和子



## (2) 事業者情報

名称: KIDSBASE さんかく	種別: 児童発達支援事業 放課後等サービス 保育所等訪問事業	
代表者氏名: 坂本輝子	定員(利用人数): 10名	
所在地: 〒343-0044 埼玉県越谷市大泊 378-3	Tel 048-971-5025	

## (3) 評価実施期間

令和7年4月1日(契約日)～令和8年3月31日(評価結果確定日)

## (4) 総評

令和7年2月23日13時から18時にて療育の視察、職員面談を行い、保護者・事業所用アンケートの結果を基に、以下の総評を行った。

### ◆特に評価が高い点

#### ① 事業所内支援と保育所等訪問支援を組み合わせた包括的な支援体制が構築されています。

事業所内での療育に加え、保育所等訪問支援事業を実施することで、児童の生活場面全体を見据えた支援が展開されています。事業所内での支援内容を集団生活の場へつなげる視点があり、関係機関と連携しながら環境調整や関わり方の助言を行っている点は、児童の適応を支える実践として高く評価できます。

#### ② 訪問先施設から、専門性と連携力に対する高い評価が得られています。

訪問先施設へのアンケートでは、「助言が具体的で現場で活かしやすい」「保護者への伝え方まで含めて支援してくれる」「学校や園が直接言いづらいことを専門的な立場から橋渡ししてくれる」といった声が寄せられており、支援が単なる助言にとどまらず、関係者間の調整や理解の促進にまで及んでいることがうかがえました。

また、児童だけでなく保護者の状況にも配慮した関わりがなされている点も評価されており、家庭・園・学校をつなぐ存在としての役割を果たしていることが明確に示されています。

#### ③ 保護者からの満足度が高く、安心感のある支援が提供されています。

保護者向けアンケートでは、支援への満足度や信頼に関する項目で高い評価が見られました。特に、「相談しやすい」「状況に応じて助言をしてくれる」「定期的に様子を共有してくれる」といった声があり、継続的な関わりの中で信頼関係が築かれている様子がうかがえます。

また、子どもが安心して通所している、通所を楽しみにしているとの回答も多く、支援環境が情緒的にも安定した場となっていることが評価できます。

### ◆特にコメントを要する点

全体として満足度は高い一方で、一部の設問では「分からない」「どちらともいえない」といった回答も見られました。特に、事業所の取り組みや体制、災害時対応、支援の仕組みなどに関する項目でその傾向が見られたことから、支援そのものへの満足度と比較すると、「取り組みの全体像」や「制度的な部分」の見えにくさがある可能性が考えられます。また、保育所等訪問支援が開始されたことで支援の場が広がった反面、事業所内支援との違いや役割分担、訪問支援でどのような連携や助言が行われているのかについて、保護者に十分に伝わっていないケースもあることが推察されます。

今後は、日々の支援のねらいや変化のプロセスに加え、訪問支援での具体的な連携内容や事業所としての安全管理や体制整備の取り組みなどを分かりやすく可視化し、継続的に情報発信していくことが望まれます。

支援の質そのものは高く評価されているからこそ、その内容や意図を「より伝わる形」にしていく取り組みが進むことで、保護者や関係機関との連携はさらに強化され、事業所としての信頼性も一層高まっていくことが期待されます。

#### (5) 第三者評価に対する事業者のコメント

このたびは第三者評価を通じて、当事業所の支援内容や取り組みについて丁寧にご確認いただき、また多くの温かいご評価をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

事業所内での療育と保育所等訪問支援を組み合わせた支援体制について評価いただいた点は、私たちが日頃大切にしている「生活全体を見据えた支援」の方向性が、実践として形になりつつあることを示すものであり、大きな励みとなりました。また、訪問先施設や保護者の皆様から、専門性や連携の姿勢について高い評価をいただけたことは、職員一同にとって大変心強い結果です。

一方で、支援内容や事業所の取り組みが十分に伝わっていない可能性があるところのご指摘につきましては、真摯に受け止めております。支援の場が広がり、多職種・多機関との連携が増えている中で、支援の全体像やそれぞれの役割が分かりにくくなっている点があることを改めて認識いたしました。

今後は、日々の支援の意図や経過に加え、保育所等訪問支援での連携内容や事業所としての体制・安全管理の取り組みについても、より分かりやすく可視化し、保護者の皆様へ丁寧にお伝えしてまいります。情報発信の方法についても見直しを図り、支援の見える化を一層進めていきたいと考えております。

今回の評価を励みとするとともに、いただいたご意見を今後の支援の質の向上につなげ、児童とご家族、関係機関の皆様にとってより安心できる支援体制を築いていけるよう、引き続き努力してまいります。